

2025 年 5 月 1 日

日本機械学会関西支部会員の皆様

関西支部シニア会会長 谷川雅之
理科工作教室代表 高岡大造

シニア会「親と子の理科工作教室」に対する御寄付のお願い

1. 趣旨

日本機械学会関西支部シニア会では、シニアの知識と経験を生かした社会貢献活動の一環として、有志が集まり「親と子の理科工作教室」を 2008 年に開始しました。これは小・中学生に理科工作の面白さを体験させ、工学さらには機械工学に対する関心を持ってもらうことを目的としています。

コロナ禍による 3 年間の活動休止を余儀なくされましたが、開始以来 17 年が過ぎ、その後も会場からの開催要望は途絶えることなく、2024 年度末で児童・生徒の累計参加者は 7,824 名と、この活動は順調に継続・拡大してきました。

2024 年度は、一般教室で 18 会場 39 教室・390 名の参加、大阪市理科特別授業で 2 校 4 クラス・105 名の参加がありました。各会場からも高い評価を受けており、2023 年度から開始した天津市科学館ではこれまで年 1 回だったものを 2025 年度には年 3 回に増やすことになりました。また、近畿で唯一開催されてこなかった奈良県からもこのたび開催要請があり、2025 年 3 月 8 日、初めて奈良県（奈良平城公民館）において開催いたしました。

実施できるテーマは現在 42 テーマで、以下のようなテーマがあります。

- ・低学年対象には、回転ブランコ・風力発電・ミニブタレース・ペンギンロボット等
- ・高学年対象には、新幹線電車・二足歩行ロボット・マイコン搭載コロコロ距離計等

これらのテーマを実施することによって、参加児童達がモノ作りを介して「機械」に興味を持って貰えるようメンバー全員で尽力しています。

教材はテーマ担当者が手作りで準備するのをモットーとしておりますが、昨今の物価高騰のあおりを受け、材料の購入費が暴騰し(例えばモータ 1 個 ¥150 だったのが ¥400)、担当者が苦勞している状況です。教材運送費や交通費もしかりです。また、昨年度からメンバーの高齢化に伴うテーマの継承に加えて、テーマの刷新・拡大も必要で、それらの開発費用も今後発生する見込みです。

これらに要する費用は、参加料や会場からの謝金、本部所轄の機械工学振興事業資金助成、関西支部交付金に加え、皆様方からのご寄付で賄っています。

つきましては、これまでと同様、本趣旨にご賛同頂ける支部会員の方々よりご寄付を募りたく、御協力の程よろしくお願い申し上げます。

2. 御寄付の受付について

- ・受付期間 … 2025 年 5 月 1 日～2025 年 12 月末日まで
- ・金額 … 一口 1,000 円（何口でもお申込みいただけます）
- ・送金手順

①添付の「機械工学振興事業資金 特定資金寄付申込書」をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、本部へメールにて送付してください。

メールアドレス：finance@jsme.or.jp

②ゆうちょ銀行備え付けの払込取扱票で、通信欄に「機械工学振興事業資金特定資金寄付金」と明記し、①の申込書送付日をご記入のうえ送金してください。

振込先：郵便振替 00130-1-19018 口座名義：一般社団法人日本機械学会

- ・なお、本寄付金は免税措置の対象事業ではありませんので、予めご了承下さい。

以上

機械工学振興事業資金 特定資金寄付申込書

寄付の目的	「機械及び機械システムとその関連分野に関する学術技芸の進歩発達をはかり、もって人類社会の発展と安寧及び福祉の向上に貢献することを目的とする」以下の事業に対して該当するものに○印をお願いします。 1. 集会事業の企画・実施 2. 研究・調査活動の実施 ③ 人材育成・教育ならびに普及・啓蒙活動 4. その他 具体的にご記入ください。 ()
実施事業名	関西支部シニア会「親と子の理科工作教室」
企画支部名	(関西) 支部
開催日・活動期間	2025 年 3 月 1 日 ～2026 年 2 月 28 日
ご寄付者 会員氏名(フリガナ)	
会 員 番 号	
ご 寄 付 額	金 円也
送金予定日	年 月 日に送金します。 振込先： 郵便振替 00130-1-19018 口座名義：一般社団法人 日本機械学会 *1.振替用紙の通信欄に「機械工学振興事業資金特定資金寄付金」と明記し、本申込書の送付日をご記入ください。 *2 振込手数料はご負担ください。

本部事務局使用欄				
No.	入金日	入金額	支部送金日	担当